

平成 27 年度環境・食育校種間連携パートナーズクール事業

## 里山 ～人と森の調和と共生～

平成 27 年 11 月 10 日（火）、第 3 回環境・食育校種間連携パートナーズクール事業を府立須知高等学校で実施しました。今回は、瑞穂中学校 1 年生 19 名、須知高校食品科学科公園管理コース 2 年生 3 名、京都大学大学院修士 2 回生 2 名が、「年輪」について共に学びました。

まず、「年輪の秘密」と題して、大学院生から説明がありました。バームクーヘンの作り方と比較しながら、木は樹皮の内側にある形成層で細胞分裂によって成長することや、気温や照度の変化によって木の光合成活動が変化し年輪ができることなどを教わりました。高校生からは「四季の無い熱帯では、年輪はできないのですか。」などの質問があり、大学院生は具体例を挙げながら丁寧に答えていました。

次に、中学生たちは樹齢 100 年程度の桧を使って、自分の生まれた年や歴史上の出来事があった年など、事前に調べてきた事項を年輪に書き込みました。自分の生まれた年と比較しながら歴史上の出来事を実際にイメージしたり、木の大きさを感じたりしながら熱心に作業を進めました。中には「家に帰ってからもやってみたい」と意欲的な生徒もいました。

最後に感想交流が行われました。中学生からは「木が外側から成長していることが分かった。」、高校生からは「日照時間と気温の変化によって年輪の幅が違うのは、動物が寒いから動きたくないのと同じだと思った。」といった意見が出されました。一方、大学院生からは「中・高生からは年輪以外の質問もたくさんいただき、分からないことは何でも聞いてみようという姿勢が勉強になった。」という感想が出されるなど、参加者それぞれにとって学びの多い取組となりました。

今後、瑞穂中学校では、これまでの取組で学んだことを生かして、里山についての学習発表を予定しています。

